

1	鍼を目的の深さまで刺入して右または左の一方向に回す手技はどれか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 旋撚術</li> <li>2. 回旋術</li> <li>3. 刺鍼転向術</li> <li>4. 鍼尖転移術</li> </ul>	2
2	正しい組み合わせはどれか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 五臓に応じる刺法－短刺</li> <li>2. 杉山流管鍼法－随鍼術</li> <li>3. 十二節に応じる刺法</li> <li>4. 九変に応じる刺法</li> </ul>	2
3	古代九鍼のうち、摩擦や圧迫を目的として用いられた鍼はどれか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 鍤鍼</li> <li>2. 鋒鍼</li> <li>3. 鈹鍼</li> <li>4. 毫鍼</li> </ul>	1
4	刺入した鍼の周囲の皮膚を鍼管または指頭で叩き、刺激を与える手技は	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 示指打法</li> <li>2. 内調術</li> <li>3. 細刺術</li> <li>4. 副刺激術</li> </ul>	4
5	呼気時に刺入し、吸気時には鍼を止めながら刺入を行う手技はどれか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 随鍼術</li> <li>2. 内調術</li> <li>3. 屋漏術</li> <li>4. 間歇術</li> </ul>	1
6	日本で創始された刺鍼方式はどれか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 撚鍼法と打鍼法</li> <li>2. 管鍼法と打鍼法</li> <li>3. 管鍼法と撚鍼法</li> <li>4. 管鍼法と撚鍼法と打鍼法</li> </ul>	2
7	鍼の刺法について正しい組み合わせはどれか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 半刺 --- 肺</li> <li>2. 豹文刺 - 腎</li> <li>3. 輪刺 --- 血絡</li> <li>4. 報刺 --- 腹痛</li> </ul>	1
8	押手の圧の分類として誤っているものはどれか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 上下圧</li> <li>2. 左右圧</li> <li>3. 周囲圧</li> <li>4. 全体圧</li> </ul>	4
9	毫鍼の各構成部位の名称として誤っているものはどれか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 鍼尖</li> <li>2. 鍼体</li> <li>3. 鍼柄</li> <li>4. 鍼幹</li> </ul>	4
10	二寸の鍼について正しい記述はどれか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 鍼全体の長さが60mmの鍼</li> <li>2. 鍼全体の長さが90mmの鍼</li> <li>3. 鍼体の長さが60mmの鍼</li> <li>4. 鍼体の長さが90mmの鍼</li> </ul>	3
11	50mm20号鍼について正しい記述はどれか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 鍼体の長さは50mmで太さは0.20mmである。</li> <li>2. 鍼体の長さは50mmで太さは0.02mmである。</li> <li>1. 鍼全体の長さは50mmで太さは0.20mmである。</li> <li>1. 鍼全体の長さは50mmで太さは0.02mmである。</li> </ul>	1
12	鍼尖がすりおろし形の鍼について誤っているものはどれか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 刺入しやすい</li> <li>2. 曲がりやすい</li> <li>3. 刺入痛ははり</li> <li>4. 打鍼法に用いられる</li> </ul>	3
13	もっとも理想的な鍼尖の形状はどれか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. すりおろし形</li> <li>2. のげ形</li> <li>3. 卵形</li> <li>4. 松葉形</li> </ul>	4

14	古代九鍼のうち、 経穴や経脈を押さ える目的で用いら れたものはどれか	1. 鈹鍼 2. 円鍼 3. 鍤鍼 4. 員利鍼	1
15	古代九鍼の鋒鍼の 使用法はどれか	1. 経穴・経脈を按压して気血を流通させる 2. 深部の慢性痛やしびれをとる 3. 皮膚を切開して排膿させる 4. 痛みやしびれに対し刺絡を行う	4
16	現代の管鍼法に用 いられている鍼は どれか	1. 円鍼 2. 毫鍼 3. 鍤鍼 4. 鋒鍼	2
17	九刺のうち十二経 絡の病において、 五行穴に刺す方法 はどれか	1. 経刺 2. 絡刺 3. 輸刺 4. 巨刺	3
18	次のうち小絡の経 脈から瀉血する方 法はどれか	1. 絡刺 2. 毛刺 3. 大瀉刺 4. 巨刺	1
19	各種の鍼の起源に 関する記述として 誤っているものは どれか	1. 現在もっとも広く用いられている毫鍼は、古代の九刺に属する 2. 円皮鍼は中国で耳鍼法用に考案された 3. 現代の三稜鍼は古代九鍼の鋒鍼に由来する 4. 皮内鍼は日本の赤羽幸兵衛により考案された	1
20	一寸三分、四番鍼 として正しいもの はどれか	1. 鍼体の長さは30mmで太さは0.22mmである。 2. 鍼体の長さは40mmで太さは0.22mmである。 3. 鍼体の長さは30mmで太さは0.18mmである。 2. 鍼体の長さは40mmで太さは0.18mmである。	2
21	50mm、20号鍼とし て正しいものはど れか	1. 一寸三分・二番鍼 2. 一寸三分・三番鍼 3. 一寸六分・二番鍼 4. 一寸六分・三番鍼	4
22	刺入が容易である 鍼尖の形状として 誤っているものは どれか	1. すりおろし形 2. のげ形 3. 卵形 4. 松葉形	3
23	ステンレス鍼と他の材質 の鍼とを比較した ときのステンレス針の特 徴で誤りはどれか	1. 曲がりやすい 2. 折れにくい 3. 腐食しにくい 4. 価格が安い	1
24	古代九鍼のうち置 鍼する目的で用い られたものはどれ か	1. 毫鍼 2. 員利鍼 3. 長鍼 4. 大鍼	1
25	古代九鍼のうち刺 入する鍼として 誤っているものは どれか	1. 毫鍼 2. 円鍼 3. 大鍼 4. 員利鍼	2
26	九刺に属するもの はどれか	1. 豹文刺 2. 直鍼刺 3. 大瀉刺 4. 傍鍼刺	3

27	病が左にあれば右に、右にあれば左に刺す方法はどれか	1. 遠道刺	2
		2. 巨刺	
		3. 分刺	
		4. 報刺	
28	次のうち十二刺として誤っているものはどれか	1. 直鍼刺	2
		2. 焮刺	
		3. 偶刺	
		4. 短刺	
29	皮内鍼を考案した人物はどれか	1. 赤羽幸兵衛	1
		2. 藤井秀二	
		3. 笹川知興	
		4. 塩沢幸吉	
30	0番鍼について誤っているものはどれか	1. 鍼体の太さは0.14mmである	4
		2. 毛鍼ともいう	
		3. カスミ鍼ともいう	
		4. 短鍼ともいう	
31	理想的な鍼が満たすべき条件として適切でないものはどれか	1. 刺鍼が容易であること	4
		2. 耐久性が高いこと	
		3. 刺鍼に伴う疼痛がないこと	
		4. 鍼体が柔軟で曲がりやすいこと	
32	次のうち刺入時の痛みが最も少ない鍼尖の形状とされているものはどれか	1. のげ形	2
		2. 松葉形	
		3. 卵形	
		4. すりおろし形	
33	鍼管と使用する鍼の長さとの関係について正しいものはどれか	1. 鍼管は、使用する鍼と同じ長さのものが適当である	3
		2. 鍼管は、使用する鍼よりも約2mm短いものが適当である	
		3. 鍼管は、使用する鍼よりも約4mm短いものが適当である	
		4. 鍼管は、使用する鍼よりも約6mm短いものが適当である	
34	次のうち刺絡をする目的で用いられたものはどれか	1. 饑鍼	2
		2. 鋒鍼	
		3. 鈹鍼	
		4. 鍔鍼	
35	古代九鍼のうち皮膚を破る鍼に属するのはどれか	1. 円鍼	3
		2. 員利鍼	
		3. 鋒鍼	
		4. 鍔鍼	
36	随鍼術について正しいものはどれか	1. 被施術者の呼気時に刺入し、吸気時に抜鍼する	1
		2. 被施術者の呼気時にのみ刺入、抜鍼する	
		3. 被施術者の吸気時に刺入し、呼気時に抜鍼する	
		4. 被施術者の吸気時にのみ刺入、抜鍼する	
37	古代九鍼のうち皮膚を破る鍼として誤っているものはどれか	1. 饑鍼	4
		2. 鋒鍼	
		3. 鈹鍼	
		4. 長鍼	
38	鍼施術が初めてであり、かつ知覚過敏者に行う手技として最も適切なものはどれか	1. 回旋術	3
		2. 副刺激術	
		3. 管散術	
		4. 示指打法	
39	刺入した鍼に鍼管をかぶせ、その上端を叩く手技はどれか	1. 屋漏術	2
		2. 刺指打法	
		3. 管散術	
		4. 副刺激術	

40	弱刺激を与える手技として誤ったものはどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 管散術</li> <li>2. 回旋術</li> <li>3. 細刺術</li> <li>4. 単刺術</li> </ol>	2
41	皮内鍼に関して誤ったものはどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 赤羽幸兵衛が考案したものである</li> <li>2. ごく短い鍼を皮膚内に垂直に挿入し固定するものである</li> <li>3. 知熱感度測定法は各経絡の井穴の部位で測定する</li> <li>4. 知熱感度測定法により判定した病経の背部ゆ俞穴に皮内鍼を施すと。</li> </ol>	2
42	灸頭鍼を考案した人物はどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 赤羽幸兵衛</li> <li>2. 塩沢幸吉</li> <li>3. 笹川知興</li> <li>4. 藤井秀二</li> </ol>	3
43	杉山和一が考案した刺鍼の方式はどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 旋撚法</li> <li>2. 管鍼法</li> <li>3. 打鍼法</li> <li>4. 随鍼法</li> </ol>	2
44	管鍼法に関して誤ったものはどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 江戸時代前期の杉山和一により考案された</li> <li>2. 鍼管を用いる</li> <li>3. 柳葉形の鍼を用いる</li> <li>4. 弾入により切皮が行われる</li> </ol>	3
45	灸頭鍼に関して誤ったものはどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 丸く固めた艾を置鍼の鍼柄に付け、点火するものである</li> <li>2. 最高品質の艾を用いる</li> <li>3. 鍼は3～5番以上の太さのものを用いる</li> <li>4. カシメ式の鍼を用いる</li> </ol>	2
46	管鍼法の刺鍼において鍼を回転させず刺手の重さのみで刺入を行う方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 旋撚法</li> <li>2. 送り込み法</li> <li>3. 鍼尖転移法</li> <li>4. 打鍼法</li> </ol>	2
47	鍼を目的の深さまで刺入した後、刺手を細かく上下に動かす手技	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 振顫術</li> <li>2. 内調術</li> <li>3. 雀啄術</li> <li>4. 屋漏術</li> </ol>	3
48	皮膚上で鍼管を用いて切皮のみを繰り返す手技はどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 細刺術</li> <li>2. 単刺術</li> <li>3. 管散術</li> <li>4. 示指打法</li> </ol>	1
49	刺入した鍼を皮下まで引き上げて、刺鍼角度をかえて再び刺入する手技	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 鍼尖転移法</li> <li>2. 刺鍼転向法</li> <li>3. 間歇術</li> <li>4. 内調術</li> </ol>	2
50	管鍼法に用いられる鍼尖の形状はどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. のげ形と卵形の間形の形</li> <li>2. 卵形とすりおろし形の間形の形</li> <li>3. すりおろし形と柳葉形の間形の形</li> <li>4. 柳葉形とのげ形の間形の形</li> </ol>	1
51	各特殊鍼法に関して誤ったものはどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 耳鍼法は中国で考案されたものである</li> <li>2. 小児鍼は転調作用を有する</li> <li>3. 鍍鍼は皮膚表面への接触刺激を与えるために用いる</li> <li>4. 電気鍼には太めのステンレス鍼を用いる</li> </ol>	1
52	挫刺鍼を考案した人物はどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 赤羽幸兵衛</li> <li>2. 塩沢幸吉</li> <li>3. 笹川知興</li> <li>4. 藤井秀二</li> </ol>	2

53	刺鍼の方式として誤ったものはどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 撚鍼法</li> <li>2. 管鍼法</li> <li>3. 雀啄法</li> <li>4. 打鍼法</li> </ol>	3
54	撚鍼法に用いられる鍼の鍼尖の形状はどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 柳葉形</li> <li>2. 松葉形</li> <li>3. すりおろし形</li> <li>4. のげ形</li> </ol>	1
55	管鍼法における刺鍼の方法に関して誤ったものはどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前揉法は指頭で輪状に深部に達するように皮膚を揉圧する</li> <li>2. 後揉法の目的は、異感覚の予防と出血の予防にある</li> <li>3. 刺入法には送り込み法と回旋法がある</li> <li>4. 刺鍼と皮膚面とのなす角が30～60°の場合、これを斜刺という</li> </ol>	3
56	鍼の刺入と抜鍼を動揺させずに、かつ鍼を皮下に留め置かない方法はどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 直刺術</li> <li>2. 単刺術</li> <li>3. 送り込み法</li> <li>4. 随鍼術</li> </ol>	2
57	鍼を目的の深度の1/3づつのところで雀啄をして刺入・抜鍼を行う手技はどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 間歇術</li> <li>2. 屋漏術</li> <li>3. 管散術</li> <li>4. 副刺激術</li> </ol>	2
58	刺鍼の周囲の皮膚表面を叩く手技はどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 副刺激術</li> <li>2. 内調術</li> <li>3. 管散術</li> <li>4. 示指打法</li> </ol>	1
59	刺鍼と押手と刺手で輪状に動かす手技はどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乱鍼術</li> <li>2. 刺鍼転向法</li> <li>3. 鍼尖転移法</li> <li>4. 内調術</li> </ol>	3
60	強刺激を与える手技として誤っているものはどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 管散術</li> <li>2. 副刺激術</li> <li>3. 鍼尖転移法</li> <li>4. 屋漏術</li> </ol>	1
61	刺鍼の方式に関する記述として誤っているのはどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 撚鍼法における切皮は、刺し手で鍼をひねりながらおこなう</li> <li>2. 打鍼法における刺入には木槌を用いる</li> <li>3. 中国においては古代より現代に至るまで、ひろく撚鍼法がおこなわれてきた</li> <li>4. 打鍼法は入江頼明により創始された</li> </ol>	4
62	各特殊鍼法に関して誤ったものはどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 赤羽幸兵衛は知熱感度測定法と皮内鍼を考案した</li> <li>2. 三菱鍼は刺絡用の鍼である</li> <li>3. 灸頭鍼において、艾の燃焼による熱は鍼体を伝導して身体表面を温める</li> <li>4. 覬鍼や小兒鍼は皮膚への接触・摩擦による刺激を与えるためのものである</li> </ol>	3
63	撚鍼法に関する記述として誤ったものはどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 刺手で鍼をひねりながら切皮し刺入する</li> <li>2. 中国において広く行われている</li> <li>3. 柳葉形の鍼を用いる</li> <li>4. 鍼管を用いる</li> </ol>	4
64	打鍼法に用いられる鍼の鍼尖の形状はどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 柳葉形</li> <li>2. 松葉形</li> <li>3. すりおろし形</li> <li>4. のげ形</li> </ol>	3
65	押手の圧に関する記述として誤っているものはどれか	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上下圧は鍼体をつまむ拇指と示指が、刺鍼部位を垂直に押す圧をいう</li> <li>2. 周囲圧は押手全体が刺鍼部位を垂直に押す圧をいう</li> <li>3. 左右圧は拇指と示指が鍼体をはさむ圧をいう</li> <li>4. 排管は左右圧をゆるめて行い、その後鍼体を保持する</li> </ol>	4

66	鍼を交互に半回転 つつ回しながら刺 入・抜鍼を行う手技	1. 旋撚術	1
		2. 回旋術	
		3. 雀啄術	
		4. 屋漏術	
67	次のうち鍼を刺入 しない手技	1. 管散術	1
		2. 内調術	
		3. 細刺術	
		4. 示指打法	
68	抜鍼困難の時に用 いる手技として もっとも適切なも のはどれか	1. 振顫術	4
		2. 屋漏術	
		3. 管散術	
		4. 示指打法	
69	刺鍼中に複数の手 技を併用する手技 はどれか	1. 乱鍼術	1
		2. 副刺激術	
		3. 屋漏術	
		4. 複鍼術	
70	次のうち管鍼法が 起こった時代はど れか	1. 鎌倉時代	2
		2. 安土桃山時代	
		3. 江戸時代	
		4. 明治時代	
71	前揉法を行う目的 はどれか	1. 刺入部位の筋肉を弛緩される	1
		2. 遺感覚を防止する	
		3. 出血を防止する	
		4. ひびきを与える	
72	ディスプレイブル 鍼の鍼根と鍼柄と の結合方式はどれ か	1. カシメ式	3
		2. ハンダ式	
		3. 接着剤固定式	
		4. 竜頭式	
73	古代九鍼のうち切 開用メスとして用 いられたものはど れか	1. 饑鍼	2
		2. 鈹鍼	
		3. 鋒鍼	
		4. 大鍼	
74	古代九鍼のうち刺 入しない鍼はどれ か	1. 員利鍼	2
		2. 円鍼	
		3. 鋒鍼	
		4. 長鍼	
75	九変に應ずる刺法 の遠道刺の方法は どれか	1. 病が上にあれば下にとる	1
		2. 病が下にあれば上にとる	
		3. 病が左にあれば右にとる	
		4. 病が右にあれば左にとる	
76	小児鍼を研究した 人物はどれか	1. 赤羽幸兵衛	4
		2. 塩沢幸吉	
		3. 笹川知興	
		4. 藤井秀二	
77	管鍼法に用いられ る鍼の鍼尖の形状 はどれか	1. 柳葉形	2
		2. 松葉形	
		3. すりおろし形	
		4. のげ形	
78	刺鍼の鍼柄の部位 を鍼管で叩く手技 はどれか	1. 細刺術	2
		2. 内調術	
		3. 管散術	
		4. 示指打法	

79	強刺激を与える手技として誤っているものはどれか	1. 間歇術	2
		2. 随鍼術	
		3. 回旋術	
		4. 示指打法	
80	三番鍼について正しい記述はどれか	1. 鍼体の長さが60mmの鍼	3
		2. 鍼体の長さが90mmの鍼	
		3. 鍼体の太さが0.20mmの鍼	
		4. 鍼体の太さが0.30mmの鍼	
81	二寸五番鍼として正しいものはどれか	1. 50mm22号鍼	2
		2. 60mm24号鍼	
		3. 80mm26号鍼	
		4. 90mm28号鍼	
82	もっとも曲がりやすい鍼尖の形状はどれか	1. 卵形	2
		2. すりおろし形	
		3. のげ形	
		4. 松葉形	
83	次の古代九鍼のうち瀉血をするために用いられたものはどれか	1. 鋒鍼	1
		2. 鍔鍼	
		3. 鈹鍼	
		4. 鑱鍼	
84	九変に応ずる刺法として誤っているものはどれか	1. 輪刺	4
		2. 分刺	
		3. 毛刺	
		4. 短刺	
85	五臓に応ずる刺法に関して誤っているものはどれか	1. 半刺は五主の皮、五臓の肺に対応する	3
		2. 豹文刺は五主の脈、五臓の心に対応する	
		3. 輪刺は五主の肉、五臓の脾に対応する	
		4. 関刺は五主の筋、五臓の肝に対応する	
86	各特殊鍼法に関して誤ったものはどれか	1. 挫刺鍼は皮膚組織の一部を特殊な鍼により引き上げて切断するものである	2
		2. 電気鍼では2本の鍼に100～500Hzの高周波電流を流す	
		3. 耳鍼法はフランスで考案された耳介への刺激法である	
		4. 皮内鍼や円皮鍼は持続的な刺激を与えるものである	
87	管鍼法における刺鍼の方法に関して誤ったものはどれか	1. 前揉法の目的は、刺鍼の予告と筋の弛緩である	4
		2. 押手の型には、半月の押手や満月の押手などがある	
		3. 切皮は弾入により行われる	
		4. 刺鍼と皮膚表面とのなす角がほぼ90°の場合、これを横刺という	
88	次のうち抜鍼困難の時に用いる手技としてもっとも適切なものはどれか	1. 鍼尖転移法	4
		2. 内調術	
		3. 管散術	
		4. 副刺激術	
89	次のうち揺動の補瀉の補法に相当するものはどれか	1. 振顫術	1
		2. 髓鍼術	
		3. 内調術	
		4. 細指術	
90	毫鍼についての記述として誤っているものはどれか	1. 術者が刺手でつまむ部位を鍼柄という	3
		2. 毫鍼の太さを表す番手の数は、小さいほど細いものである	
		3. 一番以下の鍼を毛鍼・カスミ鍼という	
		4. 現代の毫鍼は古代九鍼にその起源をもつ	
91	鍼尖が松葉形の鍼について誤っているものはどれか	1. 形状はのげ形とすりおろし形との中間である	1
		2. 刺入が容易である	
		3. 刺入痛が少ない	
		4. 管鍼法に用いる	

92	ステルス鍼の特徴として誤っているもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 高圧蒸気滅菌に絶えうる</li> <li>2. 低周波通電療法に用いることができる</li> <li>3. 刺入が容易である</li> <li>4. 腐食しやすい</li> </ul>	4
93	次の古代九鍼のうち皮膚を破る鍼として誤っているものはどれか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 鈹鍼</li> <li>2. 員鍼</li> <li>3. 饞鍼</li> <li>4. 鋒鍼</li> </ul>	2
94	五刺として正しいものはどれか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 経刺</li> <li>2. 偶刺</li> <li>3. 分刺</li> <li>4. 関刺</li> </ul>	4
95	円皮鍼に関して誤っているものはどれか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 中国で耳鍼法用に開発されたものである</li> <li>2. 現在日本では耳鍼法用のみならず他の部位にも用いられている</li> <li>3. 皮膚内に水平に挿入するものである</li> <li>4. 固定して長時間の刺激を与えることができる</li> </ul>	3
96	打鍼法に関して誤っているものはどれか	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 皮膚上に立てた鍼の上端を木槌で叩いて刺入する</li> <li>2. 腹証に基づいて主に背部兪傑穴に刺鍼する</li> <li>3. 室町時代から安土桃山時代の御園意斎により考案された</li> <li>4. すりおろし形の鍼を用いる</li> </ul>	2
97	鍼を目的の深さまで刺入した後、その半分の深さまで鍼を戻して	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 間歇術</li> <li>2. 屋漏術</li> <li>3. 管散術</li> <li>4. 副刺激術</li> </ul>	1